

かもすい通信

2024 冬号



Contents

- 館長のこぼなし
- News Topics
 - かごしま水族館 x 加茂水族館
姉妹館盟約 10 周年記念イベントを実施しました
 - クラゲ採集に行ってきました
 - 海ごみ学習会
 - 注目の生きものたち
 - Q & A 飼育員に質問！
 - 沖海月 便り
 - Research News
 - 釣り採集日誌
- できごと
- インフォメーション

アマガサクラゲ
Parumbrosa polylobata

photo: Murai Takashi

館長のこぼなし

水族館からだど海に浮かんで見える鳥海山は白い冬景色となりとても清々しい季節になりました。11月も過ぎると北西の季節風により大荒れの日が多くなる日本海はまさに演歌に出てくる情景そのままです。12月はハタハタの接岸シーズンで大黒様に田楽をお供えするのが慣例で、私がかごしまの頃は大量に採れたので一箱200円でしたが、今では一匹800円。ハタハタが庶民の味方に戻る日が来ることを切に願う今日この頃です。(奥泉)



▲ 冬に出現するヒクラゲを求めて瀬戸内海まで調査に行った時の一コマ

News Topics



姉妹館盟約 10 周年記念イベントを実施しました

姉妹館盟約 10 周年に至るまで

かがしま水族館と加茂水族館は、加茂水族館の新館リニューアル、またお互いが位置する鹿児島市と鶴岡市の兄弟都市盟約 45 周年を機に、2014 年 11 月 7 日、姉妹館盟約を締結しました。以前からクラゲの飼育展示などで交流はありましたが、姉妹館盟約締結後も職員交流やお互いの地域の生物の交換展示などを続けてきました。この度姉妹館盟約 10 周年を迎え、記念イベントを実施するにあたり、お互いの担当者がやり取りを重ね、またお互いの水族館にも足を運び、準備を進めてきました。中には実現に至らなかったアイデアもありましたが、両館の熱意で素晴らしい記念イベントを実施することができました。(渡辺)

両館長からのメッセージ

加茂水族館 館長 奥泉和也



かがしま水族館と姉妹館の盟約を結び 10 年が経ちました。コロナで中断していた職員交流も復活し一安心です。10 周年を記念して、かがしま水族館の飼育員が加茂水族館のオンラインバックヤードツアーを行ったのは斬新でした。これからも深く交流を続けていきたいです。



かがしま水族館 館長 佐々木 章



2014 年に加茂水族館との姉妹館盟約を結び、これまで続けてきた職員交流は、お互いの飼育や展示方法、海の生きものや自然等のちがいを知り、それぞれの良さも知る貴重な機会となっています。これからもさまざまな交流をどうぞよろしくお願い致します。



かがしま水族館の施設紹介

かがしま水族館では、鹿児島島の海を中心に約 800 種 1 万点の生きものを展示しています。世界最大の魚ジンベエザメやカツオ、大型のエイが群泳する黒潮大水槽は圧巻です。色彩豊かな熱帯魚と生きたサンゴ類を展示する南西諸島の海コーナーや世界初のサツマハオリムシ水槽、世界最大級の淡水魚ピラルクー水槽のほか、生きものを探す体験型コーナー「ワクワクはっけんひろば」なども見どころです。

イルカの生態や能力を紹介する観客参加型の「いるかの時間」やジンベエザメ、ゴマフアザラシの食事解説、ガイドツアーなど毎日の館内イベントもとても充実しています。

また、錦江湾につながる屋外のイルカ水路には、毎日水族館のイルカが出てきて、のびのびと泳ぐ様子を観察できます。水路で 1 日 3 回行われる「青空イルカウォッチング」では、ジャンプなどのパフォーマンスをまちかで見ることができて迫力満点です。

さらに、多彩なクラゲの魅力を紹介する「クラゲ回廊」、まるで深海に潜ったような非日常を体験できる「鹿児島島の深海」の 2 つのコーナーや美しい色彩でファンが急増中のウミウシの専用展示スペース「うみうし研究所」も人気です。

年に 2 回、テーマのキーワードを「鹿児島ならではのもの」、「生きものの分類群や生態にスポットをあてたもの」、「鹿児島以外の地域や環境をフォーカスしたもの」に設定して開催する特別企画展はリピーターの方にも好評です。



さまざまな記念イベントを開催しました

年間パスポート相互利用



姉妹館盟約 10 周年を記念して、2025 年 3 月 31 日までお互いの年間パスポートで入館できます！



館内特別展示

かごしま水族館の紹介パネルを館内に展示、紹介動画も放映しました。また、かごしま水族館からやってきたクラゲや鹿児島で採集したクラゲなどの鹿児島ゆかりのクラゲの展示解説板を特別仕様にしました。



鹿児島島の桜記念植樹

加茂水族館前に、鹿児島島の桜を植樹しました！

カゴスイ × カモスイ トークライブ



かごしま水族館の佐々木館長とクラゲ飼育員が加茂水族館にやってきたので、奥泉館長とクラゲ飼育員とでトークライブを開催しました！姉妹館盟約のことや、お互いのクラゲ事情などについてトークを繰り広げました。トークライブの様子は加茂水族館公式 YouTube チャンネルのアーカイブでご覧できます。また、トークライブ後にかごしま水族館クラゲ飼育員による加茂水族館の特別オンラインバックヤードツアーを行いました！こちらはかごしま水族館公式 YouTube チャンネルのアーカイブでご覧できます。

※YouTube のアーカイブは公開が終了していることもございます



かごしま水族館のグッズ販売

2025 年 2 月末までかごしま水族館でしか買えないオリジナルグッズなどを加茂水族館で販売します！

かごしま水族館でも姉妹館盟約 10 周年イベントを開催しました。

イベント開催にあたって、準備の打合わせをしたり、実際に加茂水族館に来ていただいたりと、たくさんのかごしま水族館のスタッフにお世話になりました。そんなスタッフの皆さんからメッセージをいただきました。



パンデミックや戦争が無い平和な世界になり、未永く両館の交流が続くことをお祈りします

副館長・展示第一課長
久保 信隆



皆さんの温かな雰囲気、唯一無二の展示や料理に魅了されました。

展示第二課 海獣展示係 係長
大塚 美加



皆さんの温かさ生きものへの熱い想いに感銘を受けました！

企画営業課
濱田 穂華



クラゲ 80 種類！すごいです。かごしまからも少しクラゲを送りました。お役に立てて幸いです。

展示第一課 魚類展示係 主任
築地新 光子



加茂水族館での交流と研修は忘れ得ない貴重な経験になりました！

展示第二課 海獣展示係
中村 潤平



オリジナル商品の制作等について貴重なお話をありがとうございました。鹿児島でも活かしていきたいと思えます。

ショップアクアキャスト 主任
野田 千晶

10周年記念特別展示
鶴岡市立加茂水族館との姉妹館盟約

※背景：かごしま水族館のイベント会場の様子

かごしま水族館に研修に行ってきました

2024 年 12 月 17 日から 20 日にかけて、かごしま水族館へ職員交流研修に行ってきました。研修では、飼育業務だけではなく、総務課やショップ担当の方とも情報交換を行い、業務の工夫や課題解決のアイデアを共有することで、多くの学びを得ることができました。また、具体的な業務内容や取り組みについて直接お話を伺うことで、自分の業務では気づけなかった視点や新たな発見があり、大きな刺激となりました。また、ハンドウイルカへのサイン出しや、体温測定、ジンベエザメの給餌を間近で拝見させていただき大変貴重な経験となりました。研修を通して、スタッフの皆様への生き物とお客様に対する熱意と姿勢に深く感銘を受けました。生き物の魅力をどのように伝え興味を持ってもらうか、楽しんでもらうために何ができるかを常に考え、共有し合う姿勢が非常に印象的でした。今回学んだことを活かし、より多くのお客様に生き物の素晴らしさ、面白さを伝えられるよう努めていきたいです。短い期間ではありましたがとても充実した職員交流研修となり、今後もさらに交流を深めたいと感じました。最後に、佐々木館長、大塚先生、そしてかごしま水族館スタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。(伊藤・高橋)



▲ ハンドウイルカの給餌体験



▲ ジンベエザメの給餌見学



▲ ジンベエザメの給餌に使うカゴ



▲ お世話になった大塚先生と記念撮影

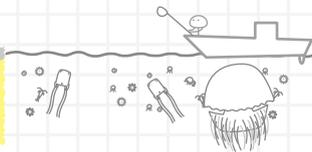
Let's go to the jellyfish research!!

クラゲ採集に行ってきました

加茂水族館ではクラゲの展示をより充実させるために定期的な調査を行っています。

～クラゲ調査で訪れた地点～

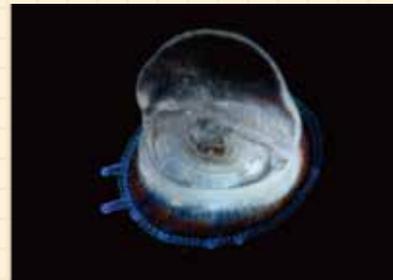
2024年11月 宮城県・岩手県 12月 広島県



宮城県・岩手県

同じ東北地方でも、日本海側にある加茂水族館周辺と太平洋沿岸では見られるクラゲは大きく異なります（と予想されます）。そこで、宮城教育大学の出口先生の研究室と協同で、宮城県女川町周辺でクラゲの採集調査を行いました。漁港をめぐってクラゲを探し、ひしゃくやプランクトンネットですくいました。当日は風が強くて波が荒かったのですが、そのせいか外洋性と思われるクラゲがいろいろと採集できました。なかでも、2.5mmほどの大きさの極小のカツオノカンムリは、個人的には初めて見る事ができて感激しました。外洋の水面上にすみ、ヨットののような帆を当てて風を受けて水面を移動するクラゲ（正確にはポリプ群体）で、少し大きめのものはたまに見かけるのですが、生まれたての小さいのはとても珍しいのです。残念ながら飼育はとても難しいので、写真で記録しましたが、きれいな青い地におしゃれな赤いバンドを備えた体に小さい帆をちょこんと乗せ、ちょろりと触手をのぞかせた姿はとてもかわいらしかったです。

宮城教育大学出口研究室の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。（村井）



▲ 女川町で採集したカツオノカンムリ



▲ 漁港での採集風景



▲ ついでに、海岸性の植物も観察。
東北太平洋沿岸に多いラセイタソウ。

データ

日時：2024年11月18日～11月19日

採集方法：漁港でプランクトンネット採集 水温：18.0～20.1℃

広島県

2024年11月29日～12月2日に広島へクラゲ調査に行ってきました。広島大学の協力を得て、竹原ステーションに宿泊してクラゲ調査を行いました。私達以外には、黒潮生物研究所の연구원や北里大学の学生さんも一緒に調査を行いました。今回は「ヒクラゲ」というリップウクラゲの仲間を狙って調査を行いました。ヒクラゲは例年瀬戸内海で11～12月頃に出現します。実はこのクラゲは夜行性のため、夜の調査がメインになります。昼間は小さなクラゲを狙ってプランクトンネットを曳き、夜は目視でヒクラゲを探します。昼間の調査ではシミコクラゲやカブトクラゲが採集できましたが、特に珍しいクラゲは採集できませんでした。ヒクラゲに関しては、初日の29日は全く出現しませんでした。今年は例年より水温が高かったためにヒクラゲが少ないと言われていました。しかし、30日の夜になんと2個体採集することができました！早速、竹原ステーション内で水槽に入れて受精卵の採集を試みましたが、卵を発見することができませんでした。おそらく2個体とも雄だったと思われます。また、2個体とも最初から傘に穴が空いていたため、弱ってしまいました。そのため、ホルマリンで標本にして持ち帰ることにしました。ヒクラゲの標本は機会があれば展示したいと考えております。それまで楽しみにお待ちください！（池田）



▲ ヒクラゲ採集の様子



▲ 今回は6mの採集棒を用意。
秘密兵器です！

データ

日時：2024年11月29日～12月2日

採集方法：漁港でプランクトンネット・柄杓採集 水温：14.1～17.6℃



加茂水族館 海ごみ学習会

加茂水族館では海ゴミを通した 環境教育・啓発活動を行っています



▲ 海ごみ学習会の様子

海ごみ学習会の受講者数は令和 5 年度は 13 団体 407 名でしたが、今年度はすでに前年度を上回っており、12 月までの受講者数は 17 団体 484 名となっています。小中学校団体が主な受講者ですが、高齢者団体による受講もこれまで 2 件ありました。また、今年度は富山県内の市議会議員一行が鶴岡市の視察に訪れた際に、視察スケジュールの中に当館の海ごみ学習会を選んでいただき受講いただきました。富山県も日本海に面していることから私たちと同様の危機感を抱いていることが窺い知れました。



▲ 漂着ごみの多くがプラスチック マイクロプラスチックは目線に沿って浜辺に打ち上げられる

加茂水族館では、以前から実施していた「クラゲ学習会」に加え、令和 5 年度から「海ごみ学習会」を行っています。10 名以上の事前申込制の学習会です。海ごみ学習会を開始した背景には年々深刻度が増している海洋プラスチック問題があります。海洋プラスチックは景観を損なうだけでなく、海の生きものの命を奪い私たち人間の健康にも影響することが心配されている世界的な問題です。こうした状況を広く知ってもらうために海ごみ学習会を開始しました。



▲ 隣接した今泉港で拾い集めたプラスチック片



▲ 砂の中からマイクロプラスチックを探し出す様子

海ごみ学習会の会場は館内のレクチャールームですが、マイクロプラスチックが身近に存在し、また、環境中に存在するマイクロプラスチックの回収の困難さを体験してもらうために砂の中からマイクロプラスチックを探し出すグループワークを行っています。子どもたちは無邪気なわいわいがやがやと砂の中からマイクロプラスチックを見つけては楽しそうですが、将来、この困難な問題に取り組んでいく人材が育っていくことを密かに願っています。(里見)

海ごみ活動の収益を寄付しました

館内での海ごみ学習会(60分版)や出張イベントの際には、参加者に写真の「海ごみボトルアート」を作ってもらい、その作品を寄付していただいております。寄付していただいた作品はカプセルに詰め、館内の海ごみコーナーに設定してあるガチャガチャで 1 個 500 円で販売しております。

令和 3 年末の開始時点から令和 5 年度末までの販売数を集計したところ 846 個、約 42 万円でした。材料費等を差し引いた収益については、海ごみ問題に取り組む 7 団体に 3 万円ずつ寄付いたしました。詳細については下記 URL の HP からご覧ください。(里見)



<https://kamo-kurage.jp/topics/post-kurage18712/>

海辺の環境フォーラムに参加しました！



10 月 12 日から 14 日の 3 日間、アクアマリンふくしまで開催された、海辺の環境フォーラムに参加してきました！全国各地から海を愛する方々が集結し、環境や教育普及などについて語り合い、とてもいい経験になりました。最終日の「こども海の日」では館内各地で各団体がプログラムを実施し、加茂水族館も「海ごみを学んで作るボトルアート」を提供しました。たくさん子どもたちが海ごみのお話を真剣に聞いて、楽しそうにボトルアートを作る姿に、私も嬉しく思いました。(久保)

注目の生きものたち

01

NEW!!

レッドクロスジェリー (仮称)



学名

Lychnorhiza malayensis

英名

Redcross Jelly

台湾の国立海洋生物博物館の協力で、繁殖が実現したクラゲ。傘の赤いクロス状の様子が特徴的です。現在加茂水族館では、中でも傘径 5cm 以上の個体を円柱水槽にて展示しております。

全部で 6 本ある円柱水槽には、どれも丸くて可愛らしい姿で人気の根口クラゲ達がありますが、中でも鮮やかな色合いで元気な動きのレッドクロスジェリーはひときわ目を惹きます。タイミングが合えば給餌の瞬間も見られるかも!? 皆様も是非会いに来てくださいね。(本間)

02

珍しい

カイメンウミヒドラ



学名

Sphaerocoryne bedoti

ポリプの時期に海綿動物(カイメン)と共生する変わり者のクラゲ。国内ではほぼ発見例がない、とても珍しい種でもあります。飼育員がウミウシの餌用にカイメンを採集した際、偶然本種のポリプを発見、繁殖を行い、この度クラゲ解説コーナーにて遊離したクラゲの展示を開始しました。

傘高 5 mm に満たない小さなクラゲですが、跳ねるような動きで元気に泳ぎ回ります。静止時は 4 本の触手が上向きになり、バンザイをしているような姿がユーモラスです。ぜひ一度見に来てください!(金島)

03

Pick Up!!

ミカツキツバメウオ



学名

Platax boersii

英名

Golden batfish

ブーメランのような形をしたこちらの魚は、名前をミカツキツバメウオといいます。ツバメウオの仲間は温暖な地域に生息しており、庄内で見える機会はあまり多くありませんが、暖流に乗ってやってきたようです。加茂水族館では数年ぶりの展示になります。幼魚の頃は背鰭と臀鰭が細長く、ブーメランのような体の形をしています。大人になるとそれらは小さくなり、全然姿が変わってしまいます。写真のものはその途中段階くらいですね。庄内ではなかなか出会えないミカツキツバメウオ、この機会に是非会いに来てください!(菅野)

04

Pick Up!!

ゴマフアザラシ(こうめ)



学名

Phoca largha

英名

Spotted seal

愛称

こうめ

性別

雌

生年月日

2020年3月17日(4歳)

加茂水族館生まれ

加茂水族館では最年少アザラシ。名前の由来は、明るい気持ちになるように、花のようにキレイに元気にスクスク成長して欲しいという願いを込め命名しました。生まれたばかりの頃は、臆病で餌を食べ始めるまでだいぶ時間がかかりました。今では、いろんなことに興味津々!! 葉っぱが落ちてきたらすかさず拾い遊び、波の花にも夢中です。最近は気が強くなったのか、お姉さんアザラシにちょっかいをかけるようになりましたが、怒られています(笑) 元気いっぱいのおんちゃんアザラシに成長しています。ぜひ、会いに来てください!(伊藤)

Q 水族館の生きものはどんな餌をあげていますか？

スタッフに質問！

A 魚類にはオキアミやアジ、マサバを与えています。



メインはオキアミですが、月曜・水曜・金曜にアジのぶつ切りなども与えています。タコや大型の魚には大きなマサバを丸ごと与えています。(魚類担当：櫻井)

A ひれあし類(アシカやアザラシ)は主に魚や貝、イカなどを食べています。



△ソルの給餌の様子 △上からアジ・サンマ・サバ

当館では、アジ・サンマ・サバの3種類を与えています。また、栄養補填のためのビタミン剤を投与しています。(海獣担当：樋口)

A クラゲはいろいろ食べますが、主に4種類の餌を与えます。



△左からアルテミア・シオミズツボワムシ・魚・クラゲ

成長段階や好みに合うよう、種類や量を変えています。(クラゲ担当：山口)

エサやり体験・クラゲガチャなどの収益の一部が水族館の生きものの餌代として活用しています。約400万円※を生きものの餌代として使わせていただきました。ありがとうございます。

※2024年4月~12月の期間

沖海月 便り

全国身欠きふぐ調理技術大会に参加してきました

今回の大会は日本ふぐ食普及、技術向上を目指し頂点を極めた、とらふぐ刺身の大会です。鮫皮引きはないもののポン酢、赤卸し、料理工程、手順ですべてが決まる程繊細な作業になり、芸術性、技量、食欲、衛生面に気を付けながら時間内で納める難しい競技になります。日ごろ仕事を通して練習、訓練してきました。加茂水族館レストランでは女性のスタッフが山形県代表選手としてエントリーしました。初めての大会となり緊張もあり思うようにいきませんでした。今回の大会で自分と向き合う機会を作ることができ成長に繋がることができました。次の大会に目掛けて練習に励みたいと思います。(須田)



Research News

コモリクラゲの論文が出ました

2024年4月に宮城教育大学と合同でクラゲ調査に行きました。その際、宮城県出島で採集した「コモリクラゲ」というクラゲが、日本では3例目で東北地方の太平洋側での初記録であったため、論文を投稿しました。その論文が2024年12月に発表されました。コモリクラゲは飼育がとても難しく、繁殖にいたっては成功例がありません。今回、宮城教育大学と共同で研究を進め、長期飼育や成熟の条件などを解明することができました。(池田)

[掲載雑誌] 日本生物地理学会会報第78巻(2024年12月20日発行)
[掲載論文] 宮城県出島で採集されたコモリクラゲ *Eucodonomus browni* の形態と生殖様式
[著者] 池田周平, 早坂綾香, 橋井瑠伽, 村井貴史, 奥泉和也, 竹田典代, 百瀬剛, Evelyn Houlston, 千葉梨沙子, 菊池さくら, 早坂佳将, 出口竜作

釣り採集日誌 ~アカカマス~

秋の釣り採集でターゲットになるのが「アカカマス」で、細長い円筒形の体に、牙が並んだ大きな口が特徴的です。魚食性が強く、小魚を模したルアーで狙えますが、効率よく採集するために針が複数並んだサビキを使う場合がほとんどです。船に備えた魚群探知機を使って、群れを探しながら釣っていきます。群れが小さく散らばっていると、釣れるポイント探しに苦戦することもしばしばありますが、まとまった群れを見つけられれば、20cm程の個体が入り食い状態になります。一度に3、4匹かかることもありますが、カマスは鱗がとても剥がれやすいため、なるべく傷つけないように丁寧にかつ素早く生け簀に収容していきます。扱いが難しい魚ですが、無事採集できた個体は展示し、元気に泳いでいる姿を見ることができます。(後藤)



できごと (2024年10月~12月)

● 調査・研究 ● 教育普及 ● イベント ● 売店 ● レストラン ● その他

- 10月1日 ● かしま水族館より2名 姉妹館の職員交流の受入(～10月3日)
- 10月2日 ● JAZA 関東東北・北海道ブロック動物園水族館合同技術者研究会に出席(～10月4日)
表題「山形県鶴岡市におけるウミウシ類の出現動態とその展示・繁殖の試みについて」
○菅野響樹, 後藤亮太, 大川優衣, 櫻井洋 (○が発表者)
- 10月3日 ● ツナグ∞かもすい応援プロジェクト 開始(～12月31日)
多くの皆様のご支援のおかげで目標金額を達成
- 京都府・兵庫県クラゲ採集(～10月6日)
- 10月5日 ● 山形かもすいむすび 2024 開催
- 10月6日 ● わくわくクラゲサイエンス特別編「秋クラゲ採集・分類体験会」
● 「白鷹町環境フェア」における海ごみに関するオンライン講演
- 10月8日 ● クラゲ学習会 大泉小学校 25名参加
- 10月12日 ● 海辺の環境教育フォーラム 2024に出席(～10月14日)
- 10月14日 ● 第2回全国身欠きふく調理技術大会に出席(～10月17日)
● アクアパーク品川より1名飼育研修の受入(～10月18日)
- 10月16日 ● かしま水族館と姉妹館盟約10周年記念事業の打合せ(～10月17日)
- 10月17日 ● JAZA ブロック園館長会議に出席(～10月18日)
- 10月18日 ● アランマレ山形応援キャンペーン 実施(～2025年4月30日)
- 10月20日 ● わくわくクラゲサイエンス 15名参加
- 10月22日 ● JAZA 事務主任者会議に出席(～10月23日)
● 山形県立加茂水産高校より2名インターンシップ受入(～10月24日)
● ピンクリボン × 水族館「Jellyfish ART AQUARIUM」クラゲ形オブジェを展示
- 10月23日 ● NCB に出席
- 10月25日 ● 海ごみ学習会 朝陽第四小学校 84名参加
- 10月27日 ● 第60回 音楽のタベ「浜崎航&松本茜 DUO」出演
- 10月28日 ● 水鳥救護研修に参加(～10月29日)
● 山形県立山辺高校より9名職場実習(レストラン) 受入
- 10月29日 ● JAZA 全国飼育のつどいに出席(～10月31日)
- 10月30日 ● 海ごみ学習会 富山県砺波市議会 6名参加
- 10月31日 ● 海ごみ学習会 広瀬小学校 18名参加
- 11月1日 ● かしま水族館・加茂水族館 姉妹館盟約10周年記念事業
年間パスポート相互利用(～2025年3月31日)
トークライブ(11月7日)
売店商品相互販売(11月7日～2025年2月28日)
かしま水族館紹介パネル展示、動画放送(11月7日～)
鹿兒島ゆかりのクラゲ特別解説板(11月7日～)
記念植樹(11月7日)
● 第4回つるおかストビ選手権 in カモスイ & タクト 募集開始(～2025年10月31日)
● 倉庫業青年経営者協議会 講話 20名参加
- 11月3日 ● わくわくクラゲサイエンス 13名参加
- 11月6日 ● 大江町教育委員会 講話 20名参加
● 大船渡商工会議所 講話 10名参加
- 11月8日 ● 海ごみ学習会 あさひ小学校 18名
- 11月11日 ● 学芸員専門研修アドバンスコースに参加(～11月14日)
● 黒鯛御膳の販売開始
- 11月14日 ● JAZA 水族館参加型研修会に出席(～11月16日)
- 11月16日 ● 山形県ふく処理者認定試験を受験 結果:合格
● 第61回音楽のタベ「鹿野信一+池の本和美+有地トリオ」出演
- 11月17日 ● 宮城県・岩手県クラゲ採集
- 11月18日 ● クラゲ学習会 鹿島朝日高等学校連携学習センター エコル鶴岡 2名参加
- 11月20日 ● JAZA 設備会議に出席(～11月21日)
表題「落雷による高圧ケーブル損傷を原因とする停電事故例について」
○渡辺葉平
表題「排水設備の不具合とその対応について」
○後藤亮太
● 長井市西根コミュニティセンター「くらしと水と環境を考えよう」オンライン研修会 30名参加
- 11月21日 ● ボラ高級御膳 販売開始
- 11月23日 ● 森とつながるストラップづくり 開催
- 11月24日 ● 海ごみワークショップ in かもすい ～レジンアート制作編～ 12名参加
- 11月25日 ● 水棲動物医学研究会に出席(～11月27日)
- 11月29日 ● 広島県クラゲ採集(～12月2日)

- 12月1日 ● 冬の加茂水! こども料金無料キャンペーン(～2025年2月28日)
● 海ごみワークショップ in かもすい ～クリスマスツリーオーナメント制作～ 約40名参加
- 12月2日 ● 食の都庄内 天然ふぐキャンペーン 参加(～2025年3月16日)
- 12月5日 ● 第2回海洋教育発表会 in 鶴岡 に出席
● FIGHT10 冬の特別企画 実施(～12月28日)
- 12月6日 ● 第50回関東東北動物園水族館獣医師臨床研究会に出席(～12月7日)
- 12月8日 ● 葛西臨海水族園より2名飼育研修受入(～12月10日)
- 12月11日 ● 第18回中韓大型クラゲ国際ワークショップに出席(～12月12日)
● フレークシール 販売開始
- 12月13日 ● 野生動物医学学会に出席(～12月16日)
- 12月16日 ● Wポケットクリアファイル 販売開始
- 12月17日 ● かしま水族館へ姉妹館の職員交流研修(～12月20日)
● タイ プラバ大学がMOU更新のために来館(～12月20日)
- 12月20日 ● プラバ大学附属 パンセーン水族館より2名飼育研修(～12月22日)
- 12月22日 ● 宇都宮動物園にて講和「クラゲの世界にZOOムイン」(～12月23日)
- 12月23日 ● 第62回音楽のタベ「磯見博カルテット(磯見博, 森田潔, 森田帆南, 若林美佐)」出演
- 12月30日 ● 新館リニューアルオープン以来 入館者数 500万人を達成



クラゲ 100 の質問が書籍になりました！



【書籍情報】
書名：教えて！クラゲのほんと
「世界のクラゲ水族館が答える100の質問」
仕様：A5判 184頁
ISBN：978-4-86811-008-8
発売日：2024年10月発行
発行：株式会社 経営房

2019年12月頃からコロナウイルス感染症が世界的な流行となりました。その影響で当館も臨時休館したことがありました。その中で、当館ではSNSでお客様からよくある質問に回答した投稿を毎日1問ずつ掲載し、100日間続けました。現在ではそのQ&Aを「クラゲ100の質問」として館内に展示してあります。そして、そんなクラゲ100の質問が書籍になりました。わかりやすくまとめただけでなく、研究者によるコラムも掲載しています。また、小さなお子様にも読みやすいように全ての漢字に読み仮名がふってあります。ぜひ皆様も読んでみてください。(池田)

沖海月 料理紹介

ふぐの日(お福分け)
2月9、10、11日ふぐの日を開催!



福を7つ詰め込んだ **七福御膳** (2,220円) を販売致します。福を贅沢に堪能できるように、また福招き開運、運氣上げ幸せで笑顔で一年乗り切れますようにとスタッフ一同、最高の準備をしてご来店お待ちしております。(須田)

令和6年度
冬特別企画



冬も加茂水 こども料金無料キャンペーン

小・中学生の入館料が無料！

R6.12.1(日) ▶▶ R7.2.28(金)

【個人】500円 → 0円 【団体】450円 → 0円
その他、小・中学生入館料が適応されるもの

※年間パスポート作成は除外。(上記期間でも料金をお支払いいただきます)
※小・中学生の入館料を無料とした場合、団体の人数に入れることはできません。

New Item
Official Shop
海月灯り
おすすめ商品

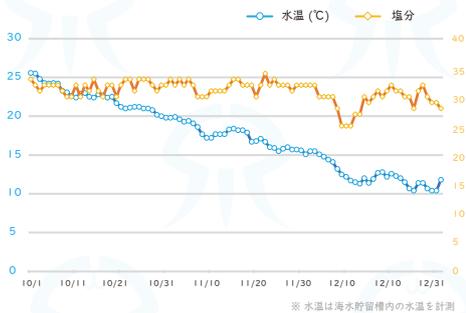
Flake Seal
Seal

計15種類!

加茂水族館公式のLINEスタンプにもなっている、飼育員がデザインした15種類のクラゲたちをフレークシールとして発売しました。パッケージのデザインは、展示している太鼓型水槽をイメージし、加茂水族館ならではのフレークシールに仕上がっています。オンラインショップでもご購入いただけますので、ぜひお買求めください。(飯野)

加茂の水質

2024年10月～12月



磯情報



冬の荒れやすい海でも、メバルは漁港などで狙うことができます。小さなルアーやワームで釣れるため、これからルアー釣りを始めたい方にもおすすめです。



北海道や東北の寒い時期に採集できます。水族館近くの港でも採れることがあります。

音楽のタベ

開催スケジュール
(2025年2月～6月分)

音楽のタベは、加茂水族館の誇る、無数のミズクラゲが漂う直径5メートルの大水槽”クラゲドリームシアター”前で開催されるコンサートイベントです。



2025.2.24 Mon.
第64回
Vocal unit a-i



2025.3.23 Sun.
第65回
中本マリトリオ



2025.4.12 Sat.
第66回
高橋知己 Quartet



2025.5.17 Sta.
第67回
外山安樹子



2025.6.14 Sta.
第68回
高瀬龍一 DUOwith 統木徹

かもすい通信 Vol.1 No.3 2025年2月発行(通号3号)

- 発行 鶴岡市立加茂水族館 〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1 / TEL 0235-33-3036 <https://kamo-kurage.jp>
- 編集 玉田亮太
- 動物取扱業に関する表示
代表者氏名：鶴岡市 市長 皆川治 / 事業所の名称：鶴岡市立加茂水族館
事業所の住所：〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1 / 登録に係る第一種動物取扱業の種別：展示
動物取扱責任者：吉見則夫 / 登録番号：庄保 26 展第 1 号 / 登録の年月日：平成 26 年 5 月 26 日 / 有効期間の末日：令和 11 年 5 月 25 日



最新情報は SNS をチェック!

